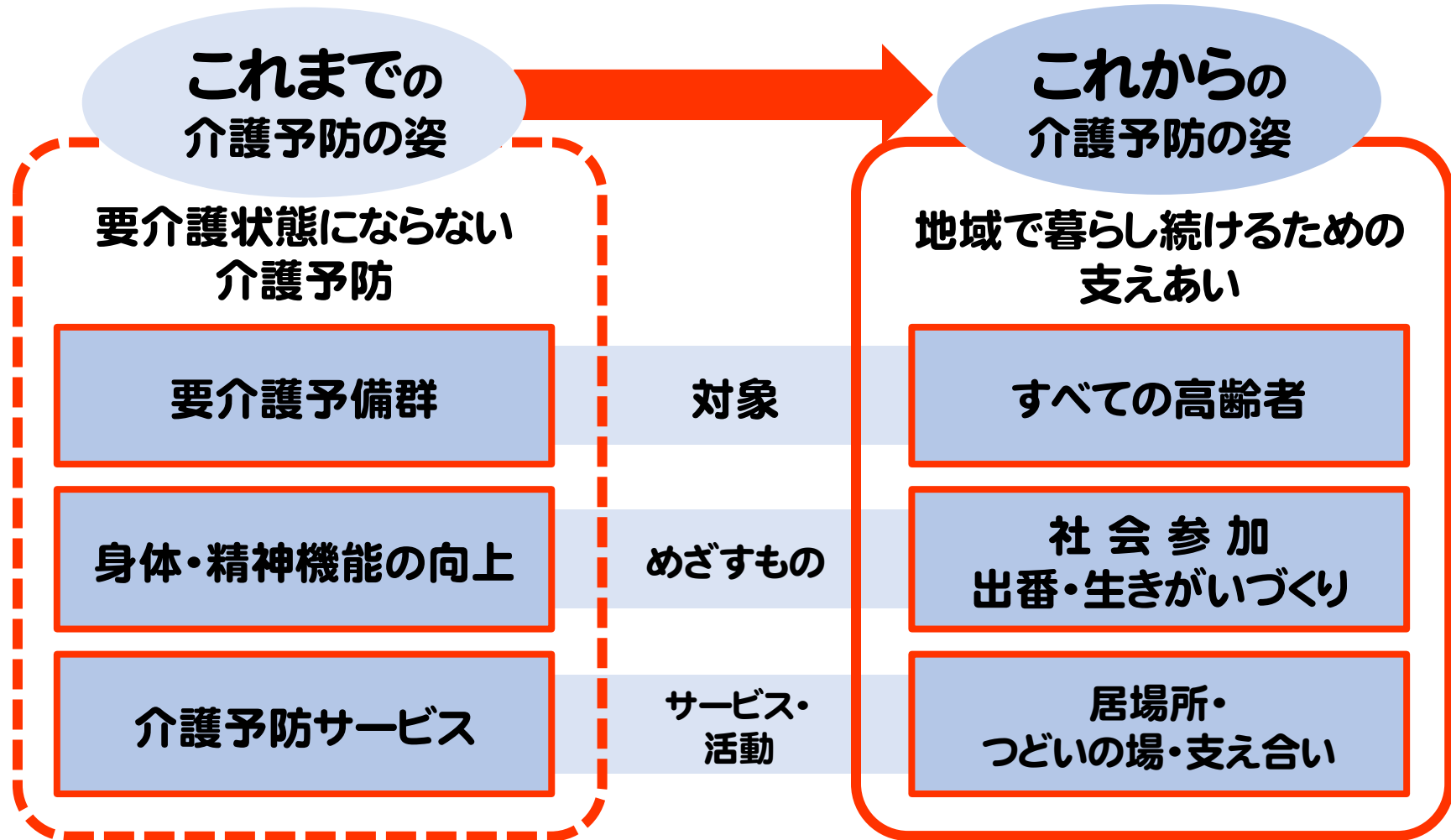


長浜市生活支援活動の紹介

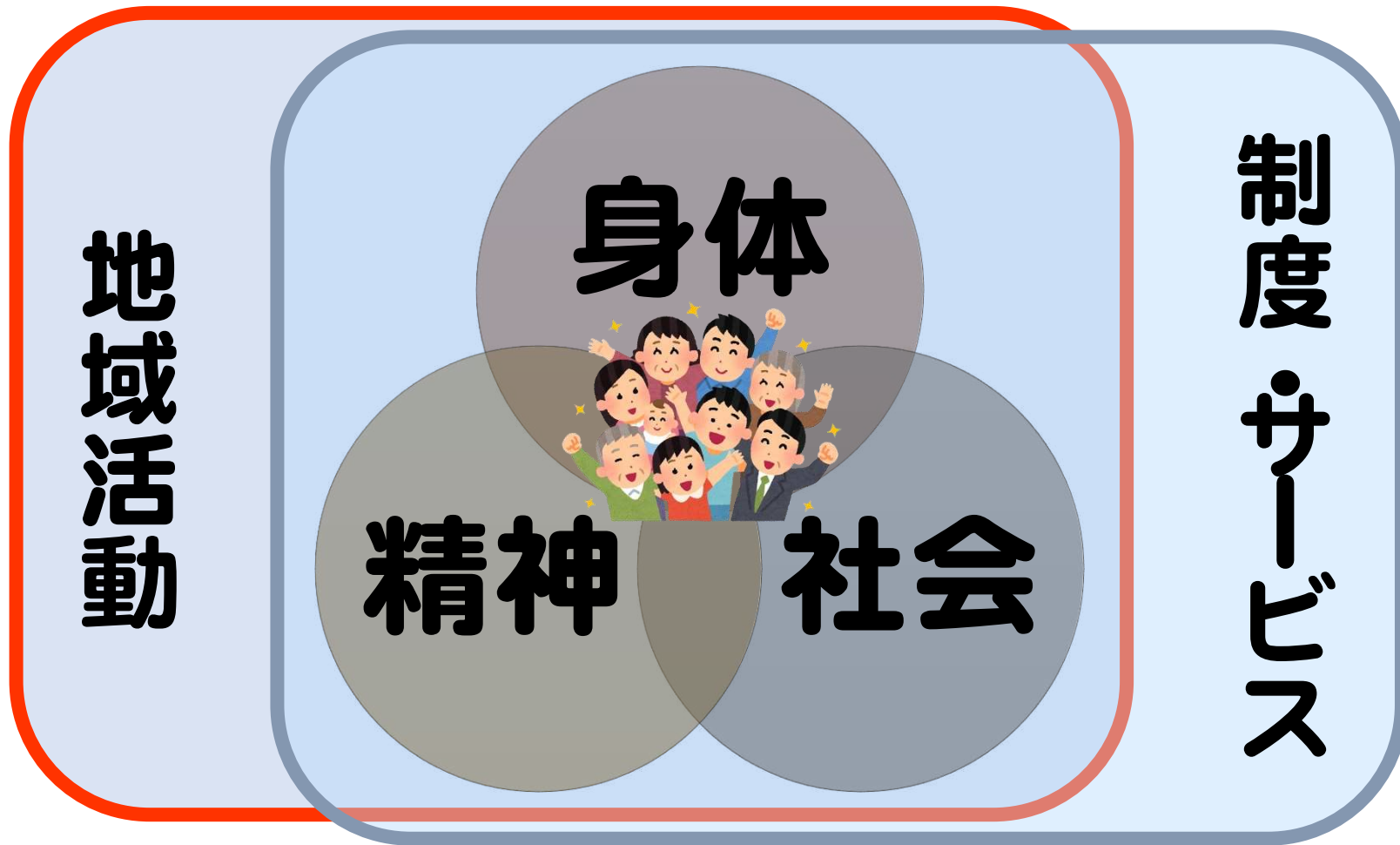
生活支援コーディネーター

日本の「福祉」を取り巻く考え方の変化

介護保険の視点は「地域づくり」へ



日本の「福祉」を取り巻く考え方の変化



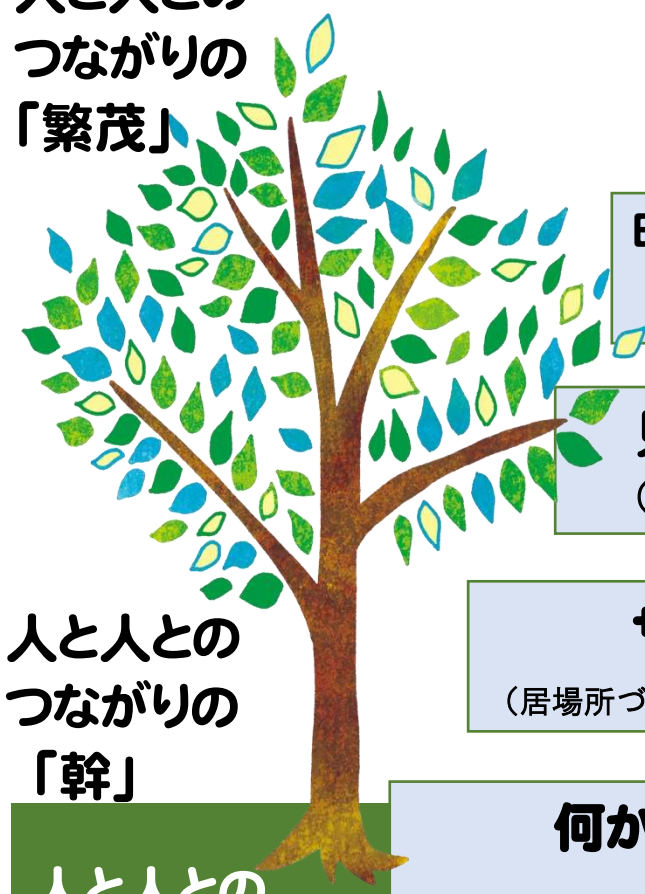
**「地域活動」と「制度・サービス」の
両輪が必要**

介護保険の視点は「地域づくり」へ

人と人との
つながりの
「繁茂」

人と人との
つながりの
「幹」

人と人との
つながりの
「根」



制度を活用したサービス
(介護保険制度など)

日常的な生活支援・介護予防の取り組み
(暮らしの支え合い)

見守り活動
(互いに認め合い、励まし合う関係づくり)

サロン活動、転倒予防教室
(居場所づくり、交流の場づくり、出番づくり、健康づくり)

何かのついでに安否確認
(見守り活動ことはじめ)



あいさつ・おしゃべり
(近所づきあい、日常的な対話と交流)

フォーマルな資源
インフォーマルな資源
自然なお付き合

支援のプロ
つなぐ専門職
(生活支援コーディネーター)
地域のプロ

「ニッポン一億総活躍プラン」 内閣府

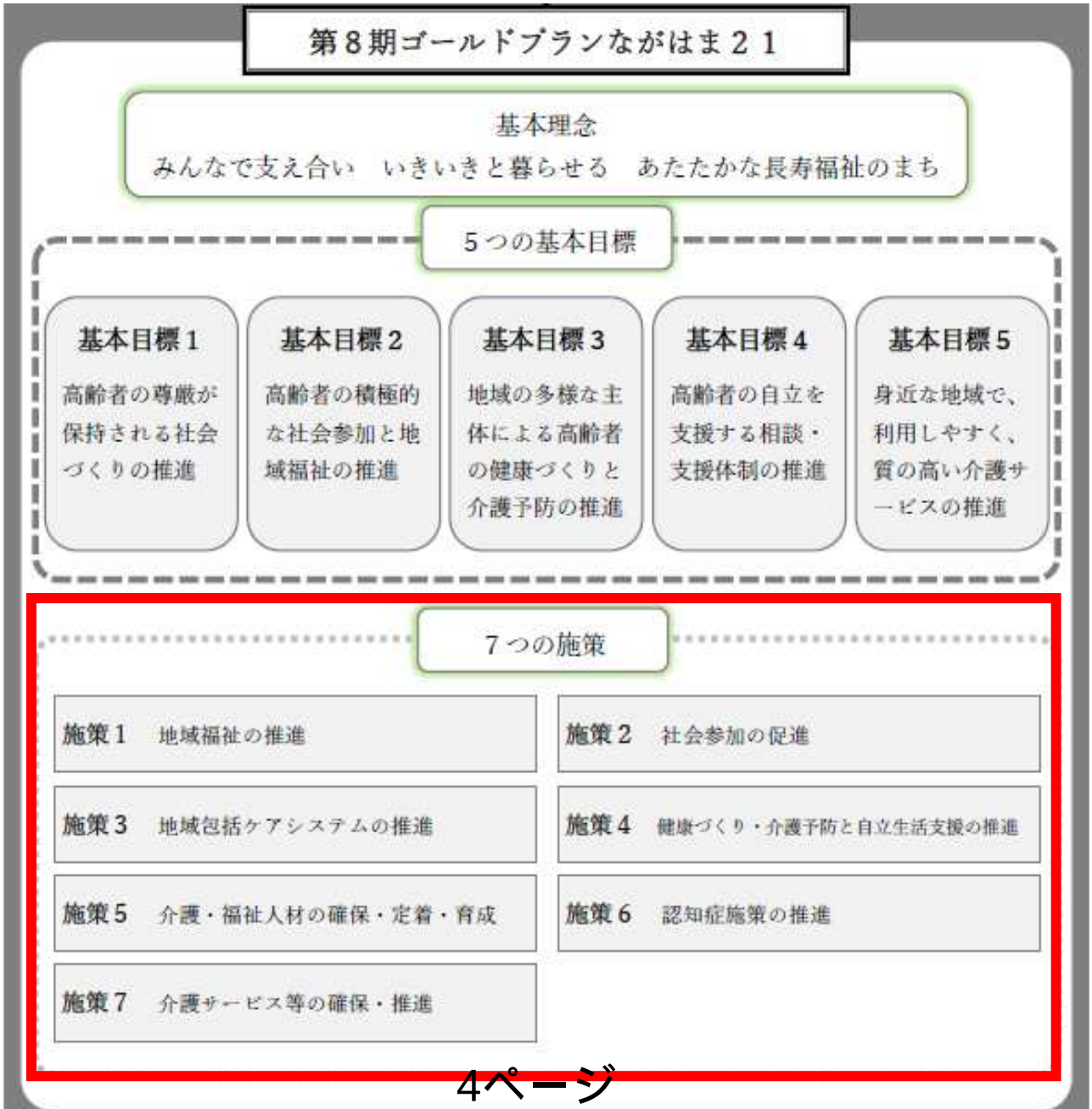
同一線上の考え方

- ◆改正介護保険「新しい地域支援事業」
- ◆生活困窮者自立支援法
- ◆「農」と福祉の連携
- ◆「地域共生社会の実現に向けて」 等

法や制度の変更だけでなく根本から見直し

住み慣れた地域で
支えあって暮らすことの大切さ

第8期ゴールドプランながはま2 1



①地域福祉の推進

- ◆地域におけるネットワークの構築と強化 ◆地域福祉の啓発
- ◆介護予防・日常生活支援の担い手育成 ◆地域共生社会の構築

②社会参加の促進

- ◆高齢者組織の支援 ◆退職シニア人材のマッチング

③地域包括ケアシステムの推進 (生活支援体制整備事業の充実)

- ◆協議体の設置と運営 ◆地域ケア会議の推進
- ◆ICTの利活用 ◆安全で安心して暮らせるまちづくりの充実

④健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

- ◆健康づくり・介護予防の取組みへの支援
- ◆一般介護予防事業の推進 ◆在宅福祉サービス

⑤介護・福祉人材の確保・定着・育成

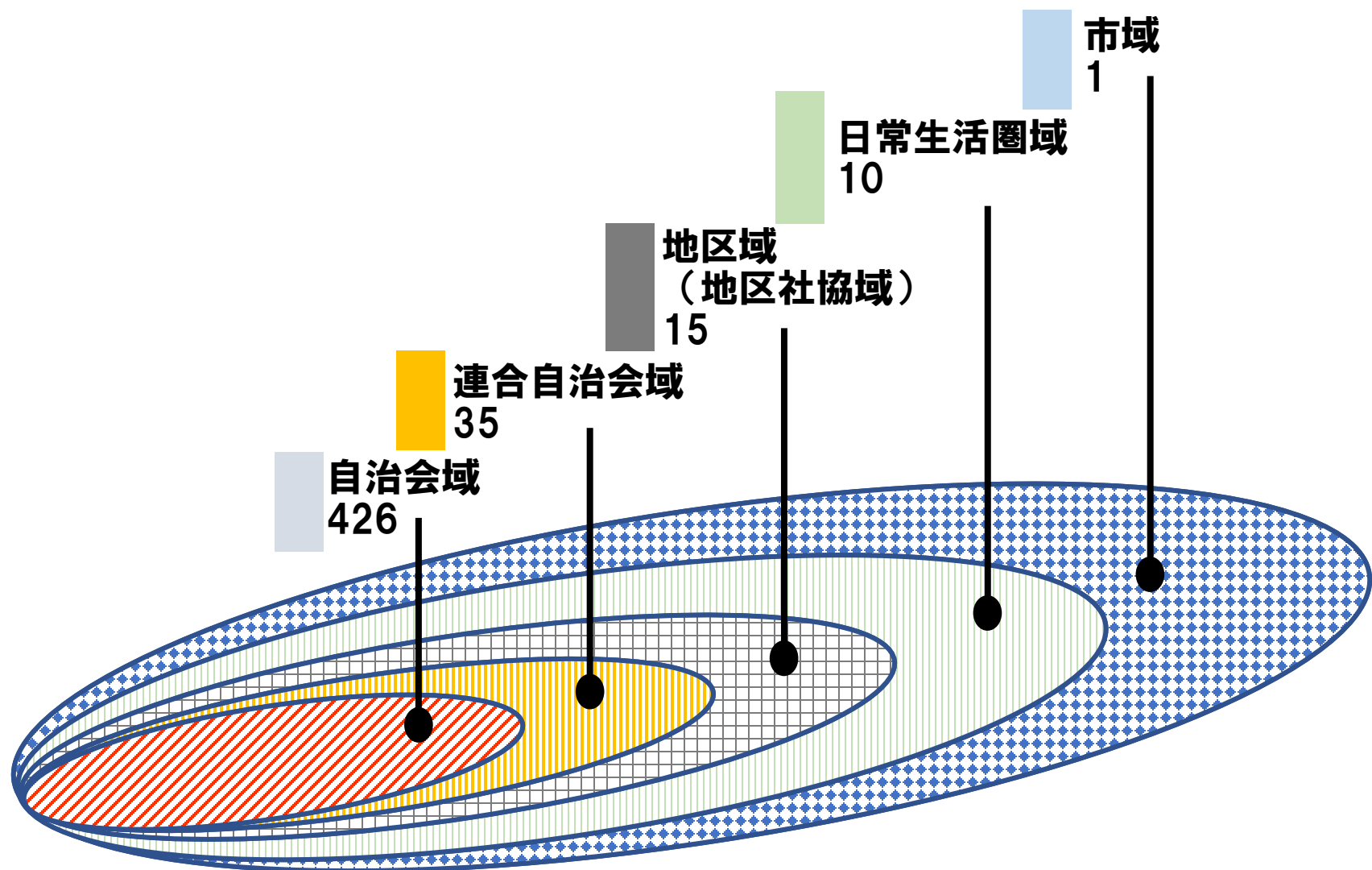
⑥認知症施策の推進

- ◆認知症に関する理解促進 ◆認知症のある人の介護者への支援
- ◆「認知症バリアフリー」の推進

⑦介護サービス等の確保・推進

「7つの施策」に沿った
生活支援活動の取組み

地域コミュニティの階層



施策1

地域福祉の推進

施策3

地域包括ケアシステムの推進

見守り活動の推進

命のバトン

304/425自治会 (71.5%) 【H30 204】

福祉委員

224/425自治会 (52.7%) 【H30 215】

見守り会議

43/425自治会 (10.1%) 【H30 3】

◆いざという時も考えた日ごろからの活動

◆住民間だけでなく**専門職と連携**した見守り活動も



施策1

地域福祉の推進

施策3

地域包括ケアシステムの推進

地域共生社会の構築、専門職との連携

「暮らしの支えあい検討会」(第2層協議体)の推進

- ①地域の様々な**困りごと**を受け止め、**共有**する場
- ②困りごとの**解決**に向けた「**仕組み**」を検討する場
- ③**住民と専門職の連携**を深める場

◆「暮らしの相談窓口」や「生活支援V活動」との連携も



施策2

社会参加の促進

施策4

健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

生活支援ボランティア活動

市内**8団体**が活動(長浜、六荘、西黒田、神田、下草野、虎姫、余呉、西浅井)

令和3年度延活動件数:**492件**

◆活動例:買い物支援活動、家屋の整理・清掃活動
除雪、畑作業手伝い、除草作業、通院付添い
お弁当配食 など



施策2

社会参加の促進

施策4

健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

サロン活動・転倒予防教室の推進

サロン活動 **254/425自治会** (59.7%) 休止中 11サロン

転倒予防教室 **169/425自治会** (39.7%)

- ◆居場所づくり、役割づくり、健康づくりの**社会参加機能**
- ◆自治会域の**福祉活動の基盤** (つながりづくり、見守り活動など)
- ◆**新しい生活様式**に合わせた活動展開
- ◆**新しい世代**に合わせた居場所づくり推進



施策1 地域福祉の推進

支えあい活動の担い手育成

人材育成、活動拡充を目指した講座の開催

- ◆活動者同士の情報・意見交換
- ◆先進事例や講師による活動のヒント
- ◆組織運営のポイント、主体的な活動実施の研修
 - ・生活支援活動者養成講座
 - ・地域共生研修会
 - ・サロンスタッフ研修・交流会
 - ・見守り活動研修 など



支えあい活動の情報発信・啓発活動

- ◆長浜市支えあいの地域づくり通信(2回/年)
- ◆市社協広報紙・地区社協広報誌で活動紹介
- ◆サロン情報誌(6回/年)
- ◆出前講座等の実施(市・地区域)
- ◆SNSや各種メディアへ掲載

お問い合わせ
長浜市社会福祉協議会 地域福祉課
長浜センター 0749-62-8304
木之本センター 0749-62-5419

第1問 次の文を読んで、各問の正誤を、○(正)と×(誤)とで答えなさい。

① 日本は、世界最大の島国である。

② 日本は、世界最大の人口を有する国である。

③ 日本は、世界最大の国土面積を有する国である。

④ 日本は、世界最大の経済力を持つ国である。

第2問 次の文を読んで、各問の正誤を、○(正)と×(誤)とで答えなさい。

① 日本は、世界最大の島国である。

② 日本は、世界最大の人口を有する国である。

③ 日本は、世界最大の国土面積を有する国である。

④ 日本は、世界最大の経済力を持つ国である。

第3問 次の文を読んで、各問の正誤を、○(正)と×(誤)とで答えなさい。

① 日本は、世界最大の島国である。

② 日本は、世界最大の人口を有する国である。

③ 日本は、世界最大の国土面積を有する国である。

④ 日本は、世界最大の経済力を持つ国である。

第4問 次の文を読んで、各問の正誤を、○(正)と×(誤)とで答えなさい。

① 日本は、世界最大の島国である。

② 日本は、世界最大の人口を有する国である。

③ 日本は、世界最大の国土面積を有する国である。

④ 日本は、世界最大の経済力を持つ国である。

市街を成
住者が僅少
では、皆二
バを歩い
た。皆、手
組んで歩
き、足音
が響いて
いた。皆、
足音を聴
きながら
歩いていた。
足音を聴
きながら
歩いていた。
足音を聴
きながら
歩いていた。

施策3

地域包括ケアシステムの推進

施策4

健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

ICTの利活用

スマホ講座

3会場×3回(全回満員)

オンラインサロン

1回／月(平均参加者10名)

- ◆ワクチン接種オンライン申込の緊急相談会(3会場)
- ◆社会参加維持のためのLINE、Zoomの使い方説明
- ◆オンラインによるボランティア活動(民謡、体操など)



①人材(参加・参画)の課題

- ・あて職役員が多く、前例踏襲の事業実施になる
- ・単年度で自治会長が交代するため新たな活動に取り組みにくい
- ・「世代が違ふと考え方が違ふ」
- ・役員(運営者)の後継者がない

②地域課題解決に向けた主体性づくり

- ・「自分たちの地域は自分たちでつくる」意識が低い
- ・情報発信などを行っているが「見たことない」との声
- ・研修会や懇談会などを開催するが参加者の顔ぶれがいつも同じ

③活動を取り巻く課題

- ・活動に使用する財源がない、助成金があっても手続きが負担で申請が難しい(する気にならない)
- ・送迎などの活動を検討しているが個人の車両では負担が大きい、誰でも使える車両が近くにほしい
- ・(特にサロン活動では) 男性の参加者が少ない
- ・コロナの影響で活動の実施を悩む

④地域の雰囲気

- ・何もかもが「コロナ」を理由にやめる方向に向いている気がする
- ・活動に参加する人が全体的に減少した
- ・困っていても「困った」と声が上がりにくい



生活支援活動の新たな芽

活動

お話ボランティアによる健康づくりと見守り活動

お話ボランティア（「話咲隊」）による高齢者等の訪問活動による地区域の見守り活動の推進と、関係団体、関係機関の連携の推進

◆1回/月 1時間ほどのお話ボランティア活動

◆利用する人も、ボランティアもお話をして健康づくり

◆民生委員、地域包括支援センター、地域づくり協議会、地区社協、自治会が連携した活動推進と支援



活動

地区をあげたフレイル予防活動

地域の課題とその解決に向けた検討を行う「神照プロジェクト」を立ち上げ、コロナ禍で課題となっているフレイルを予防する取組みを検討、実施している

◆フレイル予防の研修会を開催し、フレイルに関する正しい知識と対策を学ぶ

◆サロンなどを対象に、フレイルの学習、体力測定を行う、出前講座を、住民と専門職の一体的なチームで実施



活動

支え合い安心して暮らせる地域づくり

「防災・福祉マップ」づくりをとおした日ごろの見守り体制の充実と災害時に備えた支援体制づくり

- ◆新たな見守り活動の創出(布施自治会・小一条自治会)
- ◆マップを通じた要援護者の把握と支援体制づくり
- ◆自治会内の情報共有と支えあいの意識づくり



活動

地域住民による困りごと相談窓口の設置

地域づくり協議会、地区社協、民生委員、生活支援ボランティア団体が連携した、住民による相談受付体制づくり

◆コミュニティカフェを活用した窓口設置

◆生活支援ボランティア団体による送迎支援

◆民生委員や専門職による相談体制づくり



ひとりで悩まないでお気軽にご相談ください！
(子ども・子育て・介護・障がい・家族のことなど)

暮らしの相談窓口

～民生委員児童委員と長浜市社協の地区担当が
専門機関への橋渡しをさせていただきます。～

西黒田地区民生委員児童委員のみなさん

秘密厳守・予約は要りませんので、お気軽にお越しください。

活動

「楽しむ」をキーワードにした活動者育成

地域福祉推進の人材育成と退職世代男性の仲間づくり
推進活動

- ◆活動者の固定化、新たな活動者の参入が課題
- ◆地域資源（自然）を活かした退職世代男性の仲間づくり
- ◆「楽しむこと」をキーワードに地域活動へ参画



活動

退職者世代男性の仲間づくりと地域貢献活動

将来的な閉じこもり予防や地域の活力増強を目的とした、
地域貢献活動を行う退職者世代の男性の仲間づくり

◆退職者後の仲間づくりと地域デビューによる孤立予防

◆いつまでも楽しく健康に暮らす地域づくり

◆地域活動に活躍できる人材育成



活動

自治会単位の見守り活動推進の検討

地域づくり協議会、連合自治会、福祉の会が連携した自治会の見守り活動体制構築の推進

- ◆自治会を対象とした「防災マップ作成研修」開催
- ◆自治会へ個別に命のボタン、避難支援見守り支えあい制度を活用した見守り体制構築の働きかけの検討



活動 生活支援団体(たすけあい隊)の実践活動

高齢者の日常生活の支えあいの検討と活動

- ◆ 高齢者の生活で困りごとアンケート調査
- ◆ 困りごとと解決活動はトライ・アンド・エラーで取組の拡充
- ◆ 関係機関と連携してニーズを捉え、活動の検討
例：買い物支援、草刈り、段差解消



活動

地域交流コミュニティカフェ「縁満カフェ」

地区に関わる介護事業所、福祉関係団体、ボランティア、専門職が各機関の持つ役割を発揮し、地域交流と居場所づくり活動

- ◆住民一人ひとりが気軽に集える居場所づくり
- ◆体操や研修等、参加者ニーズに合わせた取組み実践
- ◆送迎サービスや専門職の参加など、介護事業所等の強みを活かして内容充実



活動

10年後の暮らしを考える(高時地区地域づくり計画策定)

子どもから高齢者まで、全世代が地域づくりへの参画を目指した取り組みの実施

◆これまでの活動のヒアリングを行い、課題の整理を行う

◆「高時の10年後を考える」というテーマで、これまでの幸せや趣味、現在の暮らしの困りごと、将来の地域像を

◆地域の特性を活かした未来のビジョンづくり

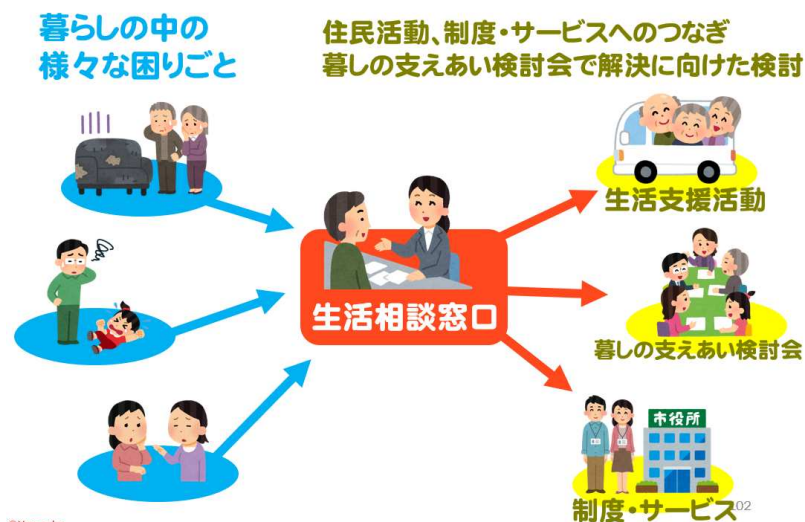


活動

地域の困りごとを受け止める取組み

地域の困りごとを受け止めるため、様々な活動団体や専門職による連携のネットワークづくりと解決に向けた協議の場づくり

◆カエル号（移動販売）を実施する地域づくり協議会、生活支援ボランティア団体、地区社協、地域包括支援センターが連携し、日ごろの活動（業務）でつかんだ困りごとを共有し、解決に向けた協議を実施



活動

地域の困りごと相談と解決活動の検討

地区内の各種団体(地域づくり協議会、地区社協、民児協、生活支援V団体)と専門機関による課題の把握と共有、解決に向けた検討の場づくり

- ◆各種団体、専門機関が把握する住民の困りごとを共有することで解決に向けた働きかけの連携
- ◆民生委員による「困りごと調査」、地域づくり協議会による「生活相談窓口」など、地域の困りごと把握に向けた取組みの検討と実践



活動

企業と協力したフレイル予防啓発活動

コロナ禍で懸念されているフレイルについて広く市民に向けた啓発と予防の取組みを推進し、

- ◆市民が多く訪れるイオン長浜店、アルプラザ長浜店を会場に、福祉事業所と専門職が連携し啓発活動
- ◆福祉用具の展示、予防体操の体験、健康相談など、知識獲得と自身の状況測定などを一体的に提供



活動 「サロンのぼり」の配布と活用

サロン活動を開催していることを周知し、新規参加の呼びかけや、サロン活動の理解を広げる

◆実施している全サロンに配布

◆のぼりを掲げて周知することで、サロン参加の敷居を下げる効果も

◆のぼりを掲げることでサロンスタッフの意気も上がっている

